

外部評価の結果 講評

全体を通して（特によいと思われる点など）	特に改善の余地があると思われる点																
<ul style="list-style-type: none"> このホームは地下鉄最寄り駅より徒歩5～6分のところにあり、近くには商店街やスーパー、公園などがあります。 地域で、特別養護老人ホームや在宅サービス事業など高齢者地域拠点サービスを展開していた社会福祉法人が、養護老人ホームみのり苑を設立したときに、同じ建物の1階にグループホームみのり苑を開設しました。 母体法人の施設長は、「家庭的なまとまり」を考えて定員にこだわり、他のグループホームが1ユニット9名定員の多いなか、6名定員のホームとしました。 ホームの理念は「利用者一人ひとりの個性・主体性を尊重し、落ち着きのある雰囲気の中で過ごしていただけるよう援助する」ことです。 施設介護やデイサービスの経験のある職員が多く、施設ではできなかった、家庭的なゆったりとした温かい雰囲気づくりと、在宅の延長として、一人ひとりのしたいことを聞き、主体性を大切にしていきたいと考えています。 各居室には洗面台が、そして隣室と共有のトイレが設置されています。 同じフロアに養護老人ホームの診療所があり、安心です。 玄関脇のコート掛けにはいつでも外出できるよう、夫々のコートが掛けてあります。1日に何度も散歩に出掛けることもあります。 入浴は毎日出来る準備をしています。但し、無理強いしないでタイミングで入浴を促しています。夜間入浴も可能です。 面会に来られる家族は入居者の表情から楽しく暮らしている様子を伺い知ることが出来て安心されています。 	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1135 304 1386 341">運営理念</th> <td data-bbox="1386 304 1989 341"></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1135 341 1386 517"> <ul style="list-style-type: none"> 判り易く明文化されている理念を、日常的に目にすることが出来る場所に掲示することが望まれます。 </td> <td data-bbox="1386 341 1989 517"></td> </tr> <tr> <th data-bbox="1135 517 1386 553">生活空間づくり</th> <td data-bbox="1386 517 1989 553"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1135 553 1386 842"> <ul style="list-style-type: none"> 母体施設に併設されたグループホームですが、在宅介護の一つの生活の場であり、地域住民の方々に理解されると共に協力を得ることが必要です。ホーム独自の玄関周りの工夫によって人々が訪れやすくなるような工夫が求められます。 自分の居場所となる居室を、馴染みの場所となるように工夫する事が求められます。家族の協力を得たり、また、入居時から写真や作品等を掲示したりしてはいかがでしょうか。 </td> <td data-bbox="1386 553 1989 842"></td> </tr> <tr> <th data-bbox="1135 842 1386 879">ケアサービス</th> <td data-bbox="1386 842 1989 879"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1135 879 1386 1099"> <ul style="list-style-type: none"> 入居者の今迄の生活歴を更に知り、過去の楽しみを再現する事により今の生活の中に更に楽しみごとを増す工夫が望まれます。 服薬管理は職員が交替しても分かるような服薬情報の整備が求められます。副作用についての研修などが望まれます。 </td> <td data-bbox="1386 879 1989 1099"></td> </tr> <tr> <th data-bbox="1135 1099 1386 1136">運営体制</th> <td data-bbox="1386 1099 1989 1136"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1135 1136 1386 1348"> <ul style="list-style-type: none"> 金銭管理について、定期的に金銭出納記録を家族に送付し、訪問時には確認サインを貰うことが求められます。 今後も色々な研修計画を立て、継続的な職員の育成に期待されます。 </td> <td data-bbox="1386 1136 1989 1348"></td> </tr> </tbody> </table>	運営理念		<ul style="list-style-type: none"> 判り易く明文化されている理念を、日常的に目にすることが出来る場所に掲示することが望まれます。 		生活空間づくり		<ul style="list-style-type: none"> 母体施設に併設されたグループホームですが、在宅介護の一つの生活の場であり、地域住民の方々に理解されると共に協力を得ることが必要です。ホーム独自の玄関周りの工夫によって人々が訪れやすくなるような工夫が求められます。 自分の居場所となる居室を、馴染みの場所となるように工夫する事が求められます。家族の協力を得たり、また、入居時から写真や作品等を掲示したりしてはいかがでしょうか。 		ケアサービス		<ul style="list-style-type: none"> 入居者の今迄の生活歴を更に知り、過去の楽しみを再現する事により今の生活の中に更に楽しみごとを増す工夫が望まれます。 服薬管理は職員が交替しても分かるような服薬情報の整備が求められます。副作用についての研修などが望まれます。 		運営体制		<ul style="list-style-type: none"> 金銭管理について、定期的に金銭出納記録を家族に送付し、訪問時には確認サインを貰うことが求められます。 今後も色々な研修計画を立て、継続的な職員の育成に期待されます。 	
運営理念																	
<ul style="list-style-type: none"> 判り易く明文化されている理念を、日常的に目にすることが出来る場所に掲示することが望まれます。 																	
生活空間づくり																	
<ul style="list-style-type: none"> 母体施設に併設されたグループホームですが、在宅介護の一つの生活の場であり、地域住民の方々に理解されると共に協力を得ることが必要です。ホーム独自の玄関周りの工夫によって人々が訪れやすくなるような工夫が求められます。 自分の居場所となる居室を、馴染みの場所となるように工夫する事が求められます。家族の協力を得たり、また、入居時から写真や作品等を掲示したりしてはいかがでしょうか。 																	
ケアサービス																	
<ul style="list-style-type: none"> 入居者の今迄の生活歴を更に知り、過去の楽しみを再現する事により今の生活の中に更に楽しみごとを増す工夫が望まれます。 服薬管理は職員が交替しても分かるような服薬情報の整備が求められます。副作用についての研修などが望まれます。 																	
運営体制																	
<ul style="list-style-type: none"> 金銭管理について、定期的に金銭出納記録を家族に送付し、訪問時には確認サインを貰うことが求められます。 今後も色々な研修計画を立て、継続的な職員の育成に期待されます。 																	

2. 評価報告書（判断理由・根拠欄省略）

No	外部評価項目	できている	要改善	評価不能
運営理念				
1 運営理念の明確化				
1	理念の具体化 管理者は、認知症高齢者グループホーム（以下「ホーム」という）に関わる法令の意義を理解するとともに、常に入居者一人ひとりの人格を尊重することを、ホームの運営上の方針や目標等において具体化している。 理念：（記述） 利用者一人ひとりの個性、主体性を尊重し、落ち着いたある雰囲気の中で過ごしていただけるよう援助する。			
運営理念 1項目中 計		1	0	0
生活空間づくり				
1 家庭的な生活空間づくり				
2	気軽に入れる玄関まわり等の配置 入居者や家族が入りやすく、近隣の住民も訪ねやすいよう、玄関まわりや建物の周囲に、家庭的な雰囲気づくりの配慮をしている。（玄関まわりに草花を植える、親しみやすい表札をかける等）			
3	家庭的な共用空間づくり 共用の生活空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、いずれも家庭的な雰囲気を有しており、調度や設備、物品や装飾も家庭的である。			
4	共用空間における居場所の確保 共用空間の中に、入居者が一人になったり気のあった入居者同士で自由に過ごせるような居場所を確保している。			

No	外部評価項目	できている	要改善	評価不能
5	入居者一人ひとりにあわせた居室の環境づくり 居室には、使い慣れた家具や生活用品、装飾品等が持ち込まれ、安心して過ごせる場所となっている。			
家庭的な生活空間づくり 4項目中 計		2	2	0
2 心身の状態にあわせた生活空間づくり				
6	身体機能の低下を補う配慮 入居者の身体機能の低下にあわせて、安全かつできるだけ自立した生活を送れるようにするための設備や工夫がある。(すべり止めや要所への手すり等の設置、浴槽・便座・流し台等の使い勝手の工夫、物干し等の高さの調節等)			
7	場所間違い等の防止策 職員は、入居者一人ひとりがホーム内の場所が分かるかを把握しており、家庭的な雰囲気をこわさずに、場所の間違いや分からないことでの混乱を防ぐための工夫をこらしている。(トイレや部屋の目印等)			
8	音の大きさや光の強さに対する配慮 入居者が落ち着いて暮らせるように、音の大きさや光の強さに配慮している。(テレビ、職員の会話のトーン、照明の強度、まぶしさ、陽射し等)			
9	時の見当識への配慮 見やすく、馴染みやすい時計や暦を、目につくところに設置している。			
10	活動意欲を触発する物品の用意 入居者の活動意欲を触発する馴染みの物品を用意し、本人の経験や状況に応じて提供している。			
心身の状態にあわせた生活空間づくり 5項目中 計		4	1	0

No	外部評価項目	できている	要改善	評価不能
	ケアサービス			
	1 ケアプラン			
11	個別具体的な介護計画 入居者の主体性を重視し、アセスメントを行い、個別の状況や特徴を踏まえた介護計画を作成している。また、それを実際のケアに活かしている。			
12	介護計画への入居者・家族の意見の反映 介護計画を入居者の家族とも相談しながら作成している。			
13	介護計画の見直し 実施期間が終了する際と、状態変化に応じた随時の見直しを行っている。			
14	確実な申し送り・情報伝達 職員間での、確実な申し送りを行っている。			
15	チームケアのための会議 チームケアの実現のために、非常勤の職員も含めた定期的なケア会議を行っている。			
	ケアプラン 5項目中 計	5	0	0
	2 ホーム内でのくらしの支援			
	(1) 介護の基本の実行			
16	入居者一人ひとりの尊重 職員は、常に入居者一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応を行っていない。職員の言葉かけはゆったりとしており、やさしい雰囲気です。 (入居者一人ひとりの違いの尊重、さりげない介助、プライベートな場所での礼儀、本人の返答能力に応じた質問方法、本人が思っている「現実」を否定しない等)			

No	外部評価項目	できている	要改善	評価不能
17	コミュニケーションに対する取組み 外国語・方言、視聴覚障害等、コミュニケーションの困難な方が入居している場合に、対応できるように取り組んでいる。			
18	入居者一人ひとりの過去の経験を活かしたケア 入居者一人ひとりの生まれてからこれまでの生活歴、本人にとって大切な経験や出来事を知り、その人らしい暮らしや尊厳を支えるためにそれを活かしている。			
19	入居者のペースの尊重 職員は、職員側の決まりや都合で業務を進めていく態度ではなく、入居者が自由に自分のペースを保ちながら暮らせるように支えている。			
20	入居者の自己決定や希望の表出への支援 職員は、入居者一人ひとりが自分で決めたり希望を表したりすることを大切に、それらを促す取組みを日常的に行っている。(選んでもらう場面を作る、選ぶのを待つ等)			
21	一人ひとりのできることへの配慮 自立支援を図るために、入居者の「できること、できそうなこと」については、手や口を極力出さずに見守ったり一緒に行ったりしている。(場面づくり、環境づくり等)			
22	鍵をかけないなど身体拘束(行動制限)しない工夫 入居者の自由な暮らしを支え、入居者や家族等に心理的圧迫をもたらさないよう、日中は鍵をかけなくてもすむような配慮など身体拘束をしない工夫をしている。やむを得ず鍵をかける場合は、その根拠が明白で、その理由を家族に説明している。(外出の察知、外出傾向の把握、近所の理解・協力の促進等)			
	介護の基本の実行 7項目中 計	6	1	0
	(2) 介護の基本の実行 食事			
23	食事を楽しむことのできる支援 職員も入居者と同じ食事を一緒に楽しんで食べながら、食べ方の混乱や食べこぼし等に対するサポートをさりげなく行っている。			

No	外部評価項目	できている	要改善	評価不能
24	食事作り 食事作りを行っている。食事作りに入居者の意見を反映させる、食事作りのために食材購入で外にでかけるなど、食事作りの過程を通じて食事を楽しめるよう支援している。			
25	個別の食事状況の把握 入居者一人ひとりの食事摂取量や水分摂取量、栄養のバランスを、一日全体を通じておおよそ把握している。			
排泄				
26	排泄パターンに応じた個別の排泄支援 おむつをできる限り使用しないで済むように、入居者一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。			
27	排泄時の不安や羞恥心等への配慮 排泄の誘導・介助や確認、失禁の対応は、不安や羞恥心、プライバシーに配慮して行っている。			
入浴と整容				
28	入居者一人ひとりの希望にあわせた入浴 入居者一人ひとりの希望にあわせ、くつろいだ入浴ができるように支援している。(時間帯、長さ、回数等)			
29	プライドを大切にした整容の支援 整容の乱れ、汚れに対し、プライドを大切にしたりげなくカバーしている。(髯、着衣、履物、食べこぼし、口の周囲等)			
睡眠・休息				
30	安眠の支援 入居者一人ひとりの睡眠のパターンを把握し、夜眠れない入居者には、1日の生活リズムづくりを通じた安眠策を取っている。			
介護の基本の実行 8項目中 計		7	1	0

No	外部評価項目	できている	要改善	評価不能
	(3) 生活支援			
31	ホーム内の役割・楽しみごとの支援 ホーム内で入居者一人ひとりが楽しみごとや出番を見出せるよう、場面づくり等の支援を行っている。(テレビ番組、週刊誌、園芸、食器洗い、掃除、洗濯物たたみ、小動物の世話、新聞作り等)			
	生活支援 1項目中 計	0	1	0
	(4) 健康管理			
32	医療の相談の確保 心身の変化や異常発生時に、気軽に相談できる医療関係者を確保している。(医師、歯科医師、保健師、看護師等)			
33	口腔内の清潔保持 入居者の力を引き出しながら、口の中の汚れや臭いが生じないように、口腔の清潔を日常的に支援している。(歯磨き・入れ歯の手入れ・うがい等の支援、出血や炎症のチェック等)			
34	服薬の支援 職員は、入居者が使用する薬の目的や副作用、用法や用量を承知しており、入居者一人ひとりが医師の指示どおりに服薬できるよう支援し、症状の変化を確認している。			
	健康管理 3項目中 計	2	1	0
	3 入居者の地域での生活の支援			
35	ホームに閉じこもらない支援 入居者が、ホームの中だけで過ごさずに、積極的に近所へ出かけて楽しめるような雰囲気を作っている。(買い物、散歩、近隣訪問、集会参加等)			
36	周辺施設等の理解・協力への働きかけ 入居者の生活の安定や拡がりのために、周辺地域の諸施設から協力を得ることができるよう、理解を拡げる働きかけを行っている。(商店、福祉施設、警察、消防、文化教育施設等)			
	入居者の地域での生活の支援 2項目中 計	1	1	0

No	外部評価項目	できている	要改善	評価不能
	4 入居者と家族との交流支援			
37	家族の訪問支援 家族が気軽に訪問でき、訪問時は居心地よく過ごせるような雰囲気を作っている。(来やすい雰囲気、歓迎、関係再構築支援、湯茶の自由利用、居室への宿泊しやすさ等)			
	入居者と家族との交流支援 1項目中 計	1	0	0
	運営体制			
	1 ホームと家族との交流			
38	家族の意見や要望を引き出す働きかけ 家族が、気がかりなことや、意見、希望を職員に気軽に伝えたり相談できたりできるように、面会時の声かけ、定期的連絡等を積極的に行っている(「たより」の発行や行事ビデオの上映、写真の送付等)			
39	入居者の金銭管理 入居者が日常の金銭管理を行えるよう、一人ひとりの希望や力量に応じて支援している。また、入居者が持つ小口現金の管理や、家族からホームに託された預り金の管理については、本人及び家族の同意のもとでその方法を定め、定期的に出納内容を本人および家族に報告している。			
	2 職員の育成			
40	継続的な研修の受講 採用時あるいはフォローアップ等、それぞれの段階に応じた外部研修を職員が受講できる体制が用意されている。			
	運営体制 3項目中 計	2	1	0